

令和6年度第4回各務原市男女が輝く都市づくり審議会 議事要旨

日時 令和7年1月23日(月) 午前10時00分から11時30分

場所 産業文化センター8階第2特別会議室

<出席者>竹内委員(会長)、高田委員(副会長)、神戸委員、堀田委員、花田委員、岩田委員、江口委員、長縄委員、永井委員、渡部委員、柴山委員、下野委員

<事務局>平工市長公室長、古田課長、斉藤係長、後藤主事、渡邊主事

<その他>株式会社サーベイリサーチセンター(プラン策定支援委託事業者)より2名

<司会>事務局

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 議事(以下、議事進行は会長)

(議題第1号)

○第5次各務原市男女共同参画基本計画(最終案)の確認について

(会長)パブリックコメントについては、学校教育についての意見が多く寄せられたが、どう思うか。

(委員)パブリックコメントの結果を見て、男女共同参画社会を実現させるためには、子どもの頃からの教育が大事だと考えていらっしゃる方が多いことを実感した。同時に、学校教育に対する市民の方の期待も感じた。市が回答している内容は問題ないと思う。

(委員)パブリックコメントの資料(P6)で、「学校等における教育の推進」に変更となっているが、ほかの事業名に合わせて「学校などにおける教育の推進」にしたほうが良いと思われる。

(事務局) そのように修正する。

(委員)パブリックコメントの意見でもあった目標値について、県のプランの目標値にはほとんど数値が入っていた。国や県の数値を参考に、市のプランにおいても可能な限り数値目標を設定してもらいたい。現実離れしている数値を設定するのも問題と思われる。

(事務局) 国や県のプランの目標値を参考にして、数値化できる指標については、数値目標を設定している。細かな事業の達成状況については、数値項目をそれぞれ設定して、年度ごとに事業の達成状況を把握する。

(委員)パブリックコメントの資料(P9)について、指標の「この地域で、子育てをして

いきたいと思う市民の割合」を4次プランと同様の「子育てしやすい環境が整っていると感じている市民の割合」に戻したほうが良いという意見があるが、そのとおりだと思う。子育てしやすい環境が整っていなくても、各務原市で子育てしていききたい人はいる。本プランでは、ハード面の「子育てしやすい環境が整っていると感じる人」が増えたほうが良いと思う。

(事務局) 市としては、ハード面だけでなく、ソフト面も含めた幅広い意味での子育てのしやすさを確認するために本指標を採用している。また、市の総合計画でも同じ理由のもと指標を変更しており、総合計画と整合性を図っている。

(委員) 市役所では、管理職登用や育児休暇を取得する男性も増えているため、次回のプラン策定時には、市の頑張りがそのまま反映されるような項目を設けると良い。市が頑張っていると分かると市内の民間企業も男女共同参画の取組みを進めていくかもしれない。

○概要版について

(委員) ワーク・ライフ・バランスや女性のエンパワーメントについては、注釈で説明書きを加えると分かりやすい。

(事務局) 注釈を追加する。

(委員) 目標3が黄色で見づらさを感じた。プリンターの関係かもしれないが見やすいようにしてほしい。

(事務局) 見やすい色使いに配慮する。

(委員) 見開きの体系ページの「主な事業」はなくして、目標指標を一覧にして載せたほうが良いと思う。市民意識調査に関わるものだけでも。

(事務局) 施策の方向まででは、具体的にどのような事業をやっているのか分からないため、市としては体系は見開きで載せたい。指標を載せるのあれば、最終ページの相談一覧と差替えたいと思うが、どちらが良いと思われるか、委員の皆様の意見を聞きたい。

(委員) 4次プランの概要版には主な事業の記載がなかった。なぜ入れたのか。やはり指標は大切だと思う。

(会長) 「目標指標は2次元コードから市ウェブサイトのプラン本編にてご確認ください。」とご案内文章を載せるのはどうか。

(委員) 目標指標も相談窓口もどちらも大切だと思う。

(会長) 概要版という手に取りやすいものに相談窓口が書いてあるのはいいと思う。どちらかという相談窓口を載せたほうが良いと思う。

(委員) 各目標のページに指標を入れ込むのはどうか。

(会長) この時間で答えを出すことは難しいと思われるため。事務局で検討してほしい。

(委員) 基礎調査のときに実施した小中学生アンケートがすごく生徒から好評だった。生徒たちと男女共同参画を学ぶきっかけになった。ただ、アンケート以外に資料が

ないため、学校では答えて終わりになってしまっていると思う。男女共同参画の理解が深まるような子ども向けのパンフレットを次の策定時に作ってほしい。

○表紙イメージについて

(委員) 最初から興味がある人が読むのか、どこかに置いてあって自由に取って貰ってもらうのかというような場面想定がある中で、どういう状態をターゲットにするのかを決めないとジャッジできない。まずは場面想定、ターゲットの設定の解像度をあげることが大切である。

(事務局) 「男女共同参画」という言葉に馴染みのない人にも手に取って読んでもらいたいと思う。

(会長) 昔の市の担当者が言った、『「男女共同参画」という堅苦しい言葉を押しせば押しほど、市民はそこから引いてしまう』という言葉が印象に残っている。多くの方に見てもらおうとするには、表紙に謳いすぎないほうが良いかもしれない。

(委員) 「男女共同参画」という言葉を教えることが目的でなく、その先にある願いを分かち合いたい。もし表紙に言葉を書くとするなら、「自分らしく生きるためには？」などと書いて、どういうことだろうという興味を惹いて、内容を見てもらったほうが良いように思う。

(委員) 行政的に「男女共同参画基本計画」というのは表紙にあったほうが良いというのは分かるが、上のほうでなくて下のほうに小さく書くのはどうか。上のほうに書いてあると漢字がたくさん並んでいて威圧感があるように思う。差し支えないなら目立たないように下にできないか。

(事務局) 他の自治体ではあまり見ないケースであるが、差し支えない。

(委員) 問題なければ採用すると良い。

(会長) 各務原市が先陣を切ってやっていけばいいと思う。

(会長) デザイン案①と②は人のイメージが入っているかどうかで印象がちがうと思う。デザイン案①の説明書きをなくし、「男女共同参画基本計画」を下の方に持ってきた表紙か、デザイン案②の「にじいろプラン」から虹をベースとして、街があるという表紙かどちらが良いと思うか。

(委員) 人のイラストがあるほうが柔らかい印象がある。

(委員) 私は人のイラストがないほうが良い。

(委員) 個人的には表紙①のほうが良いと思う。

(委員) 表紙①のほうが良い。説明書きは読みづらい。説明の文案の『「男らしく」「女らしく」という言葉は、時代にそぐわないため、載せるのであれば他の言葉が良いと思う。

(会長) 学校の教科書には中身を連想させるものが表紙に取り入れられていると思うが、そのような視点からいくと、男女共同参画をイメージできる表紙が良いか、あえて男女共同参画を押し出さないほうがいいのか、どう思うか。

(委員) 子どもが見ることを考えると表紙から内容が連想できる案①が良いと思う。ただ、プラン名を印象づけようと思うと、虹が描いてある案②が適していると思う。ただ、子どもは内容がイメージしづらい。

(委員) 案②はどこかで見たことのあるようなイラストに思える。よく使われているものと似ている。

(委員) 案①は、虹はないが、いろいろな色を使うことで「にじいろ」をイメージしている。

(委員) にじいろプランの下に「第5次各務原市男女共同参画基本計画」を入れると良い。

(委員) 市民が手に取る場面があるのか。子ども館などに置けるのか。

(事務局) 子ども館に設置依頼をすることはできる。

(会長) 手に取る場面が少ない。事務局にて手に取る場を増やすことを検討してほしい。

(委員) 情報が多いよりシンプルなほうが目に入りやすい。デザイン案②は見たことある気がするため、案①の文字を減らすと良いと思う。

(委員) おじいさんが料理を作っているイラストなど入れるといい。

(会長) 今出た意見をまとめると「第5次各務原市男女共同参画基本計画」は下のほうに記載し、説明文はなくす。①か②かでいうと、①のほうが男女共同参画をイメージしやすいという意見が多い。イラストは人物の世代をばらけさせるなど、検討が必要だと思う。今までの男女のイメージとはちがうイラストを載せるということもできる。

(委員) タイトルのメッセージが強い。イラストにもメッセージが込められている。さらに文字で説明すると情報量が多すぎる。メッセージ性を込めるところを絞ったほうがいい。

(会長) 説明書きはなしでいいと思うか。

(委員) なしでいいと思う。

(会長) ①か②でいうとどちらがいいと思うか。多数決を取る。

～多数決の結果、デザイン案①の意見が多かった～

(会長) ①なら人物イラストの選定も必要になる。

(事務局) 説明文をなくすことで、人物イラストを1人追加することができるが、どのようなイラストがいいと思うか。

(委員) イラストを増やすと情報が増えてしまうため、今のままでいいと思う。

(委員) 今のままで、年代をバラバラにするために、働く女性のイラストを年配の女性にするなどすると良いと思う。

(委員) 基本計画を見てもらうと内容が多岐に渡る。指標はアンケートの項目が半数以上である。基本計画は、作ることがゴールではなく、何をやっていくかが大事であるが、そこを考えると急に市役所頼みになってしまう。継続的にまちをアップデート

ートしていくには、男女共同参画の推進について、話す場、そして動く人たちを作ることが大事である。男女が輝く都市づくり審議会の位置づけについて、審議することに加えて、「推進委員会」のように実行するという事も考えていく必要がある。

(会長) いかにして男女共同参画を普及させていくかということは今後皆さんで意見を出し合いながら考えていきたい。第5次プランについては、これまでの本編・概要版・表紙についての審議を踏まえ、適当と認め、審議会として市長に答申する。

閉会